



タマのカーニバル はけの森展
はじまりの造形—まねること・くりかえすこと リズムの起源

会 期 平成 26 年 3 月 4 日 (火) ～ 3 月 23 日 (日)
 会 場 1 階展示室・ラウンジ
 開催日数 18 日
 観 覧 料 無料
 入場者数 853 名
 一日平均 47 名
 担 当 者 中村 めぐみ
 企 画 港大尋 (タマのカーニバル総合ディレクター)
 主 催 5 市共同事業実行委員会
 (武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市)
 運営主体 NPO 法人アートフル・アクション
 協 力 東京都埋蔵文化財センター、井戸尻考古館、
 小金井市文化財センター、言叢社



開 催 趣 旨

5 市共同事業「タマのカーニバル」は、小金井市を中心として三鷹市、武蔵野市、国分寺市、国立市に在住、在学の子どもたち約 100 人が集まり、2013 年 7 月から音楽・ダンス・大道芸・美術・工作など横断的な芸術活動を行うワークショップ形式のプロジェクトである。2014 年 2 月に小金井市内を練り歩き、小金井市民交流センターでパフォーマンス上演をする「タマのカーニバル大行列」を行いほぼ半年間のワークショップの成果を発表した。本展示会は、そうした活動の総まとめとして企画されたものである。多摩地区には豊富な考古学的資料が数多く存在する。奇しくもはけの森美術館周辺には、縄文時代の遺跡が存在し、石器、土器などの出土品に恵まれている。このような貴重な地域資源に想を得て、「造形のはじまり」というテーマで展示を行った。土器、土偶、編布など縄文時代の造形物を中心にしなが、彫刻家・辻忍(1961～)や写真家・八木橋信吉(1931～)らの作品、「タマのカーニバル」通年ワークショップに通った子どもたちが制作した土偶などを並列することで、単なる考古学的視点・博物館的視点だけではないアプローチを試みた。各週末にはワークショップ、レクチャーやパフォーマンスを開催し、今回の活動を来館者と共有し、今後の多摩地域に「タマのカーニバル」の活動の広がりを得ることができるよう紹介を行った。

関 連 事 業

(1) ワークショップ「縄文編布の制作」

内 容：からむし・あかそ・大麻などの植物の繊維を素材とした日本最古の布「編布」づくりを体験した。

日 時：平成 26 年 3 月 15 日 (土)11:00 ～ 16:00

講 師：尾関清子 (縄文編布研究家、東海学園女子短期大学名誉教授)

参加費：無料 (要申込)

会 場：2 階多目的講義室

参加者：18 人



(2) レクチャー「はじまりの造形—まねること・くりかえすこと リズムの起源」

内 容：布を編み、土器や土偶をつくる身体の所作や縄文時代の儀礼、儀式からリズムの起源を、また、乳幼児から子ども期の活動、身体の所作にある人の原初的な可能性について各講師がそれぞれのテーマから講演した。

日 時：平成 26 年 3 月 16 日 (日)10:00 ～ 16:00

10:00 ～ 10:45 尾関清子 (前出)

11:00 ～ 11:45 渡辺公三 (文化人類学者、立命館大学教授)

13:00 ～ 13:45 樋口誠司 (考古学研究者、井戸尻考古館館長)

14:00 ～ 14:45 島亨 (言叢社編集者、本展アドバイザー)

15:00 ～ 16:00 座談会

進 行：港大尋 (音楽家、タマのカーニバル総合ディレクター)

参加費：無料 (要申込)

会 場：2 階多目的講義室

参加者：23 人



(3) トーク「タマのカーニバルとは何だったのか？」

内 容：「タマのカーニバル」について、総合ディレクター、制作担当がそれぞれの視点から事業内容を振り返り、活動の意義や今後の可能性について話し合った。

日 時：平成 26 年 3 月 21 日 (金・祝日)14:00 ～ 16:00

①縄文・宗悦・反アートの系譜学— 港大尋

②タマのカーニバルをふりかえって

— 戸舘正史 (タマのカーニバル制作担当)

参加費：無料 (要申込)

会 場：2 階多目的講義室

参加者：約 20 人

(4) パフォーマンス

①詩の朗読

内 容：独特の語感で詩作を続ける詩人・藤原安紀子が展示空間の中で、本展覧会のための書き下ろした作品も含めた自作詩の朗読を行った。パフォーマンス後には、ミニトークショーも開催された観客と交流を行った。

日 時：平成 26 年 3 月 22 日 (土)14:00 ～

参加アーティスト：藤原安紀子 (詩人)

参加費：無料 (要申込)

会 場：1 階展示室

参加者：約 30 人



②サーカスアーティストによるパフォーマンス

内 容：「タマのカーニバル」通年ワークショップに参加し、子ども達の指導を行っていたサーカスアーティスト金井圭介が、本展において重要なモチーフである縄を用いたパフォーマンスやジャグリングを行った。

日 時：平成 26 年 3 月 23 日 (日)11:30 ～、14:00 ～

参加アーティスト：金井圭介 (サーカスアーティスト)

参加費：無料 (要申込)

会 場：1 階展示室・中庭

参加者：約 50 人



③音のタペストリー

内 容：会期中の平日に、展示室内でフルートやパーカッションによる演奏を行った。演奏者はそれぞれ即興演奏を行い、“はじまりの音”を表現した。

参加アーティスト：澤和幸(ギター)、大村太郎(チェロ)、
清水達生(パーカッション)、亀田奈美子(フルート)、
松村拓海(フルート)、伊藤寛武(フルート)

日 時：会期中平日の午前・午後

参加費：無料

会 場：1階展示室



主要関連記事

(1) 新聞

『はけの森展』開催中 出土品や子どもの土偶作品」小金井新聞、2014年3月11日
「タマのカーニヴァル はけの森展」産経新聞、2014年3月10日

(2) 放送

「いまだこイレブン」ケーブルテレビ J:COM 東京、2014年2月25日放送
「ATLEIER NOVA」J-WAVE、2014年3月8日放送

2. 教育普及事業

1. ワークショップ

[1] 多目的講義室オープン記念ワークショップ「空カケル教室～水彩で空を描こう～」

内 容：平成 24 年度の改修工事により完成した、多目的講義室のオープン記念ワークショップとして開催した。講師には、当館の立地する「はげ」に取材した映画「借りぐらしのアリエッティ」などで活躍する背景美術家を招き、アニメーションの技法を用いて空をテーマに水彩画を描いた。実際にアニメーション背景を描く時と同じ画材・道具を使い、創作を行った。

日 時：平成 25 年 7 月 6 日（土）13:00～16:30

講 師：牟田いずみ（アニメーション背景美術家）

参加費：1,000 円

対 象：中学生以上

会 場：2 階多目的講義室

参加者：23 人



[2] 多目的講義室オープン記念ワークショップ第2弾「水彩で富士山を描こう」

内 容：7 月に開催した水彩画ワークショップを、好評につき再び開催した。世界遺産に登録された富士山をモチーフに、水彩での表現を学んだ。

日 時：平成 25 年 12 月 8 日（日）13:00～16:30

講 師：牟田いずみ（アニメーション背景美術家）

参加費：1,000 円

対 象：中学生以上

会 場：2 階多目的講義室

参加者：21 人



[3] 親子で美術館を楽しもう！おはなしのへや

内 容：平成 25 年に日本の児童図書館に多くの業績を残した小河内芳子氏の蔵書の一部を、地域文庫「こごうちぶんこ ことりのへや」から絵本 845 冊が小金井市へ寄贈された。その絵本を活用し、小さなお子様のいる方にも美術館を楽しんでいただくため、ボランティアによる絵本の読み聞かせ会を開催した。子どもが参加している間、保護者は展覧会を鑑賞することができる。また内容は、読み聞かせだけでなく、幼児から小学生まで美術館を楽しんでもらえる様にパネルシアターや、展覧会のテーマや季節の行事に合わせた簡単な創作活動も行った。

協 力：こごうちぶんこ ことりのへや

会 場：2 階多目的講義室

参加費：無料（観覧券不要）

申 込：不要（当日受付・出入り自由）

対 象：幼児～小学生と保護者

第 1 回

日 時：平成 25 年 10 月 19 日（土）14:00～17:00

参加者：計 31 人（大人 13 人、子ども 18 人）

第 2 回

日 時：平成 25 年 11 月 9 日（土）14:00～17:00

参加者：計 27 人（大人 14 人、子ども 13 人）



第3回

日 時：平成26年3月19日（水）14:00～16:00

参加者：計22人（大人10人、子ども10人、乳児2人）



2. 学校教育との連携

[1] 鑑賞教室

学校名	実施日	時間	組	生徒数	引率教員数	交通手段	展覧会
第四小学校	9月5日(木)	9:30～10:15	1	29	5	バス	旅する画家
		10:20～11:05	2	30			
		11:10～11:55	3	29			
第二小学校	9月13日(金)	9:30～10:15	1	33	5	バス	
		10:20～11:05	2	34			
		11:10～11:55	3	33			
第一小学校	10月17日(木)	9:30～10:15	1	35	6	徒歩	
		10:20～11:05	2	34			
		11:10～11:55	3	35			
南小学校	10月18日(金)	9:40～10:40	1	31	5	徒歩	
		11:00～12:00	3	30			
		14:00～11:55	2	31			
緑小学校	10月22日(火)	9:30～10:20	1	35	4	バス	
		10:20～11:10	2	35			
		11:10～12:00	3	35			
東小学校	10月23日(水)	9:30～10:15	1	35	4	バス	
		10:55～11:40	2	35			
第三小学校	10月30日(水)	9:30～10:15	1	40	6	バス	
		10:15～11:00	2	39			
		11:00～11:45	3	39			
本町小学校	10月31日(木)	9:10～10:00	1	38	3	バス	
		10:55～11:45	3	38			
前原小学校	11月12日(火)	9:10～9:55	1	33	4	徒歩	
		11:05～11:50	2	33			
		14:00～14:45	3	33			
合 計			25	852			



3. その他

[1] つくるよタマのカーニバルーはけの森ワークショップ編

5市共同事業「タマのカーニバル」関連ワークショップとして、当館を会場に夏・冬2回開催された。2月開催の「タマのカーニバル大行列」に向けた通年ワークショップの参加者以外も参加できる創作ワークショップであり、企画・制作はNPO法人アートフル・アクションが行った。

①夏休み・物語づくりワークショップ

内 容：当館周辺地域（ムジナ坂）で拾った石、枝や木の実、お花などの材料を糸で繋ぎ合わせて人形を創作した。その人形を操って怖い話を演じたり、自作の歌を歌ったりなどグループ毎にパフォーマンスを行った。

日 時：平成 25 年 8 月 7 日（水）10:00～14:00

講 師：平井航（人形遣い・人形師）他

参加費：無料

対 象：武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市在住・在学の小中学生
（小学校3年生以下は保護者同伴）

会 場：2階多目的講義室および美術館周辺

主 催：5市共同事業実行委員会（武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市）

企画・制作：NPO法人アートフル・アクション

参加者：約30人（通年ワークショップ参加者も含む）



②カーニバルの仮面や人形、衣装をつくって変身しよう！

内 容：古着やハギレなど、色々な素材を使って仮面や衣装、人形を創作した。作った衣装や仮面は2月22日、23日に開催された「タマのカーニバル大行列」の参加者が使用した。

日 時：平成 26 年 1 月 11 日（土）、1 月 18 日（土）

① 9:00～12:00、② 13:30～16:30

講 師：港大尋、森の楽団、平井航（人形遣い・人形師）他

参加費：無料

対 象：武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市在住・在学の小中学生
（小学校3年生以下は保護者同伴）

会 場：2階多目的講義室、1階展示室

主 催：5市共同事業実行委員会（武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市）

企画・制作：NPO法人アートフル・アクション

参加者：約40人（通年ワークショップ参加者も含む）

5. 作品及び資料

1. 作品収集

1) 所蔵作品・資料の点数推移と現状

小金井市立はけの森美術館は、平成 16 年に財団法人中村研一記念美術館から小金井市に寄贈された中村研一作品を中心とする美術作品を所蔵している。中村研一記念美術館開館当初（平成元年）、所蔵作品は 499 点であった。しかしその後平成 16 年まで、中村研一記念美術館によって積極的な収集活動が行われ、所蔵作品の点数は 30% 以上増加し 499 点から 776 点となった。この期間の収集活動では、中村研一に関連する作家の作品も収集された。その後、財団法人中村研一記念美術館の解散に伴い、上述のコレクションは小金井市に寄贈された。小金井市立はけの森美術館開館時点（平成 18 年 4 月 1 日）で、寄贈を受けた美術作品 738 点の内訳は、中村研一作品が 705 点、その他の作家による作品 33 点であった。さらに中村研一作品の内訳は、油彩 142 点、素描 465 点、陶芸 96 点であった。

小金井市立はけの森美術館として開館してからの活動の中で、平成 25 年度までに、寄贈によって油彩 3 点をはじめとして、水彩・素描 20 点、陶芸 7 点などの計 48 点が加わった。平成 26 年 4 月 1 日現在、当館所蔵のコレクション総点数は 786 点である。また、作品以外に、多数の遺品類の所蔵がある。

編註：財団法人中村研一記念美術館と小金井市立はけの森美術館では、作品の数え方が異なるため、総点数や作品の内訳数に若干の違いが生じている。

2) 作品収集方針

当館の作品収集方針については、平成 18 年度第 2 回収集評価委員会（平成 19 年 3 月 30 日開催）での協議を経て、平成 19 年度第 1 回運営協議会（平成 19 年 6 月 29 日開催）で下記の通り決定された。開館以降 8 年間における作品収集活動は、作品購入に充てられた予算がないため、基本的に寄贈のみである。所有者より寄贈の申出があった場合に、収集方針に従い収集評価委員会で審議の上決定し、受入れを行ってきた。

◆小金井市立はけの森美術館美術作品収集方針

1. 中村研一と関連作家の作品を対象とし、中村研一の画業及び同時代の近代洋画の展開が把握できる、油彩、水彩、素描等の秀作
2. 小金井市を含む多摩地域にゆかりの深い近・現代絵画（油彩、水彩、素描、日本画、版画等）の秀作
3. 子どもの鑑賞教育に資する、平面及び様々な表現媒体によるメディアアートの作品

■平成 23-25（2011-2013）年度 寄贈作品一覧

寄贈年度	作家名	油彩	水彩	素描	版画	陶芸	彫刻	写真	書	資料	合計	作品
平成 23 年	中村研一	1									1	《井上富三氏の肖像》1951 年
平成 24 年	中村研一					1					1	《九谷大皿 パラ図》1950 年以降
	種別合計	1				1					2	

2. 作品貸出

■平成 23-25 (2011-2013) 年度 所蔵作品の館外貸出

作者名	作品名	種別	制作年	貸出先	展覧会名	会場	会期
	南の海	油彩	1942 年	ホテルオークラ東京	東日本大震災復興支援チャリティイベント“アートで心をつなぐ” 第 18 回 秘蔵の名品アートコレクション展	ホテルオークラ東京 アスコットホール (別館地下 2 階)	平成 24 年 8 月 3 日 (金) ～ 8 月 26 日 (日)
	宿泊先 (昭南のわが宿)	油彩	1942 年				
中村研一	山本ヒロ像	油彩	1920 年	宗像市市民活動推進課	小金井市協定記念・新市政 10 周年・宗像ユリックス 25 周年記念事業 中村研一特別展「大きなクスの木の下で」美術館展 vol.4	宗像ユリックス市民ギャラリー	平成 25 年 4 月 2 日 (火) ～ 4 月 21 日 (日)
	フランス風景	油彩	1923 年				
	花	油彩	1924 年				
	中村正奇氏の肖像	油彩	1929 年				
	シンガポールへの道	油彩	1943 年				
	木陰	油彩	1963 年頃				
	夏の家	油彩	1964 年				
	縫物	油彩	1945 年				
	花を生ける	油彩	1963 年頃				
	自画像	油彩	1958 年				
	夏	油彩	1948 年				
	裸体	油彩	1964 年頃				
	裸体	油彩	1951 年頃				
	バラ (絶筆)	油彩	1967 年				
	イタリアの壺	油彩	1965 年				
	花	油彩	1950 年				
	出雲取手付き猫面壺	陶磁	1950 年以降				
	九谷水指 銘 七夕	陶磁	1950 年以降				
	九谷栗図飾皿	陶磁	1950 年以降				
信楽半筒形 銘 君が代	陶磁	1959 年					
備前紐付蟹図偏平壺	陶磁	1950 年以降					
出雲婦人像飾皿	陶磁	1954 年					

3. 作品情報の変更

当館学芸員が行った所蔵作品調査の結果により、16 点の作品情報の変更を行った。

調査内容及び詳細については、「8. 調査研究」を参照されたい。

6. 広報活動

案内リーフレット

A4判 3ツ折フルカラー

掲載内容:設立趣旨、主なコレクション、沿革、中村研一(1895～1967)、その他、館内施設、利用案内、交通案内、「美術の森」喫茶棟(旧中村研一住居)、周辺環境
当館受付の他、市内各所等で配布。当館利用に関する基本的な情報を掲載している。

インターネット掲載、ウェブページ

1) 小金井市立はけの森美術館

小金井市公式ウェブサイト(<http://www.city.koganei.lg.jp/>)の中に当館の情報ページを設けている。

小金井市立はけの森美術館ウェブページ URL

http://www.city.koganei.lg.jp/kakuka/shiminbu/shiminbunkaka/hakenomori/hakenomori_top.html

閲覧可能なコンテンツ

- 開催中展覧会及び次回展覧会のご案内
- 美術館の概要
- 利用案内
- 開館日情報
- 過去の展覧会
- 教育普及活動
- 刊行物・オリジナルグッズのご案内

2) 外部インターネットサイトへの情報提供

当館公式ウェブページ以外に、アート関連の情報サイトや地域情報サイトなどに展示内容についての情報を随時提供している。また、インターネット上のポータルサイト「文化遺産オンライン」(<http://bunka.nii.ac.jp/>)へ当館所蔵作品の掲載を進めている。

マスメディアへの掲載

1) 展示関連記事等

企画展など個別の展示関連の記事掲載については展覧会各ページを参照されたい。

2) はけの森美術館に関する記事等

特定の展示ではなく、はけの森美術館そのものについての紹介記事・情報掲載等について、平成23～25年度までの主要なものを以下に記載した。

(1) 新聞

- 「自然と芸術が調和するまち 小金井市立はげの森美術館」公明新聞、2011年9月3日
「リラックス春編 アートに触れ森を散策 中村研一記念小金井市立はげの森美術館」読売新聞、2012年4月18日
「小さな散歩道 中村研一記念小金井市立はげの森美術館」ASA だより、2012年9月2日
「戦争のリアル描く 中村研一 故郷・宗像で特別展」読売新聞、2013年4月13日

(2) 雑誌

- 「画家の見た風景 五十八 「シンガポールへの道」『九州王国』2012年6月号、月刊九州王国編集室
「天使のアートな休日」『カー・アンド・ドライバー』2013年10月号、ダイヤモンド社
「妻と小金井を愛した画家 中村研一」『たまら・び』2014年1月号、けやき出版
「光風会作家の作品を見に行こう！」『新美術新聞』2014年3月11日号、美術年鑑社

(3) 書籍

- 『関東周辺個人美術館めぐり』2011年10月発行、日本出版社
『TOKYO 美術館 2013-2014』2013年2月発行、榎出版社
『TOKYO 美術館 2014-2015』2014年2月発行、榎出版社

(4) 放送・放映

- J:COM チャンネル「まちの記憶・小金井の歴史」2012年7月2日
テレビ東京「大人の極上ゆるり旅」2012年11月16日

7. 刊行物・販売物

刊行物概要

1) 展覧会カタログ・リーフレット

平成 19 年度までは、所蔵作品展・企画展ともに各回ごとのリーフレットを制作してきたが、平成 20 年度からは企画展時のみリーフレットを作成し、展覧会の出品目録および作品解説を兼ね、来館者に配布してきた。平成 23 年度から 25 年度においても同様に、企画展時のみリーフレットまたはカタログを制作した。平成 25 年度には、共同巡回展のカタログとして、初めて DVD 付きのカタログを制作した。

2) その他

小金井市立はけの森美術館では、「次世代育成にむけての教育普及」を充実させることを目的に、子ども向けのワークショップや市内小学校の鑑賞教室で使用する教材として、独自のワークシートを制作してきた。平成 24 年度・平成 25 年度には夏休みの期間に開催される所蔵作品展において、小中学生向けのワークシートを制作し無料配布を行った。

刊行物一覧表

種別	刊行物名称	発行年月	仕様	頒布価格	内容等	奥付
リーフレット	江戸糸あやつり人形結城座 ～糸し糸しと言ふ心～	2011 年 6 月	B3 六ツ折 (12.1 × 25.7)、 カラー	無料	・展示解説 ・作品図版 (カラー) ・作品解説	編集：小金井市立はけの森美術館 (神津瑛子) デザイン：東京学芸大学デザイン研究室 (宮塚裕佳子、渡邊桜、小松祐季) 印刷：シンソー印刷株式会社
ワークシート	秀ちゃんのびのび猫の美ガイド	2011 年 7 月	A5 判、 カラー、 3 ツ折	無料	・作品図版	編集：小金井市立はけの森美術館 (神津瑛子) デザイン：東京学芸大学デザイン研究室 (鈴木詩織) 印刷：シンソー印刷株式会社
カタログ	朝倉文夫の猫たち	2011 年 7 月	A5 判、 カラー、 18 ページ	300 円	・展示解説 ・作品図版 (カラー) ・略年譜 ・出品リスト 等	編集：小金井市立はけの森美術館 (荒木和) デザイン：東京学芸大学デザイン研究室 (藤澤瑞穂) 印刷：シンソー印刷株式会社
ワークシート	所蔵作品展 夏の家、木陰のアトリエ 宿題応援！ワークシート	2012 年 7 月	B4、3 色	無料 (小中学生配布)	・作品解説 ・「はけ」解説	制作：小金井市立はけの森美術館 (神津瑛子) デザイン：東京学芸大学デザイン研究室 (藤澤瑞穂)
カタログ	交歓と触発 石川県立美術館の近代洋画から	2012 年 10 月	A5 判、 カラー、 52 ページ	500 円	・展示解説 ・作品図版 (カラー) ・作家解説 ・参考文献 ・出品作品リスト 等	編集：小金井市立はけの森美術館 (荒木和・神津瑛子) 編集補助：松尾由子 デザイン：東京学芸大学デザイン研究室 (水元文香、伊東恵里、久保田翔子) 印刷：シンソー印刷株式会社
カタログ	中村研一の九谷	2012 年 10 月	A5 判、 カラー、 24 ページ	300 円	・展示解説 ・出品作品リスト ・参考文献	編集：小金井市立はけの森美術館 (荒木和) デザイン：東京学芸大学デザイン研究室 (久保田翔子) 印刷：シンソー印刷株式会社
ワークシート	所蔵作品展 旅する画家 旅のしおり	2013 年 7 月	A3、2 色	無料 (小中学生配布)	・作品解説 等	制作：小金井市立はけの森美術館 (荒木和) 編集・デザイン協力： リュエル・スタジオ
カタログ	岐阜県美術館蔵 コレなんだ？ 佐藤慶次郎のつくった 不思議なモノたち	2013 年 10 月	188 mm × 139 mm、 112 ページ、 DVD (21 分) 付き	1300 円	・展示解説 ・作品図版 (カラー) ・略年譜 ・参考資料 ・出品リスト 等	編集・発行： 第 14 回共同巡回展実行委員会 デザイン：大岡寛典事務所 印刷：三永印刷株式会社

販売物概要

1) 展覧会カタログ

企画展の際に発行したカタログや、企画展開催時に販売した他館発行のカタログを、企画展終了後も参考資料として販売している。

2) ミュージアムグッズ

実用性があり、気軽に購入できるものとしてポストカード、一筆箋、クリアファイルを販売している。ポストカードについては、当館所蔵の中村研一作品のうち十数点を選び、フルカラー印刷、裏面に小金井市立はけの森美術館ロゴを配置している。一筆箋は表紙に中村研一のサイン「K.Nakamura」と作品の図柄をあしらひ、便箋は罫線入り、作品をワンポイントで配置した20枚綴りのものを2種類制作している。

3) 企画展関連商品

他館のユニークなコレクションを紹介する企画展の際、展示作品の掲載されている、所蔵館発行の図録やポストカードなどのオリジナルグッズを販売した。

販売物一覧表

小金井市立はけの森美術館制作

		価格
ポスト カード	猫	50円
	花(紫)	50円
	チューリップ	50円
	仏婦人	50円
	果物	50円
	バラ(絶筆)	50円
	仏風景	50円
	早春	50円
	花	50円
	パンジー	50円
	食卓	50円
	バラ	50円
	木陰	50円
	出雲 取手付猫画壺	50円
	自画像	50円
	研一猫	50円
	富子猫	50円
	婦人像	50円
	夏の家	50円
	海水浴	50円
花セット(5枚)	250円	
猫セット(5枚)	250円	
研一セット(18枚)	900円	
一便箋	猫	200円
	蛙	200円
クリア ファイル	花(紫)	250円
図録	中村研一回顧展	600円
	Art-Full	600円
	Art-Full2	600円
	朝倉文夫の猫たち	300円
	交歓と触発	500円
	石川県立美術館の近代洋画から	300円
	中村研一の九谷	300円
	岐阜県美術館蔵 コレなんだ? 佐藤慶次郎のつくった不思議な モノたち	1300円

※本販売物一覧は平成26年4月時点のものである。企画展関連販売物については、既に当館での販売を終了したものも含まれている。
なお、当館による刊行物については、前掲刊行物一覧を参照されたい。

8. 調査研究

1) 平成 23～25（2011～2013）年度の出張の一覧

小金井市立はけの森美術館では、開館当初より、必要に応じて館外での調査を行ってきた。平成 20 年度からは調査・研究に対する予算が独立した項目として明文化されたため、企画展開催に向けての事前調査などが館の調査活動の一環として可能になった。

	年度	日付	出張者	出張先名称	場所	業務内容
1	平成 23 年度	H24.2/13～ 2/14	神津瑛子	長野県信濃美術館 松本市美術館	長野県長野市 松本市	中村研一作品及び建築家佐藤秀三についての調査
2	平成 23 年度	H24.3/19～ 3/20	荒木和	石川県立美術館	石川県金沢市	平成 24 年度企画展において借用予定の中村研一作品調査
3	平成 24 年度	H24.6/25～ 6/26	荒木和	石川県立美術館 小松市立錦窯展示館 小松市立博物館 他	石川県金沢市 小松市	平成 24 年度企画展において展示予定の中村研一関連の九谷焼及び他作家の作品調査
4	平成 24 年度	H24.11/6～ 11/7	神津瑛子	福岡県立美術館 北九州市立美術館分館	福岡県福岡市 北九州市	福岡県立美術館の中村研一関連展示及び関連作家の調査
5	平成 24 年度	H25.3/13～ 3/14	神津瑛子	三重県立美術館	三重県津市	中村研一関係者が収集した近代日本美術作品の調査のため
6	平成 25 年度	H25.7/11～ 7/13	荒木和	佐世保市博物館島瀬美術センター	長崎県佐世保市	平成 25 年度共同巡回展展示作業および総合開会式出席のため
7	平成 25 年度	H26.1/21～ 1/22	荒木和	丸亀市猪熊弦一郎美術館	香川県丸亀市	平成 26 年度共同巡回展において出品予定の作品調査
8	平成 25 年度	H26.2.28	荒木和	長野県信濃美術館	長野県長野市	平成 26 年度企画展において借用予定の作品調査
9	平成 25 年度	H26.3.25	荒木和	平塚市美術館	神奈川県平塚市	平成 26 年度企画展において借用予定の作品調査

2) 平成 23 ～ 25 (2011 ～ 2013) 年度の作品情報の変更

小金井市立はけの森美術館では、開館当初より、所蔵作家・所蔵作品についての基礎調査を行っている。出品歴などの調査結果に基づき、以下の作品情報の変更を行った。

	分類	作品No.	作者	(変更前)	(変更後)	変更年月	変更理由等
1	陶磁	C-0015	中村研一	九谷椀形 藤ノ絵	九谷絵茶碗 藤ノ絵	201112	附属箱の記載に従う
2	陶磁	C-0047	中村研一	九谷角皿 旦那様用/奥様用	九谷小皿	201112	附属箱の記載に従う
3	陶磁	C-0101	中村研一	九谷丸皿 たんぼぼ図	九谷丸皿 あざみ図	201112	
4	水彩・素描	D-0150	中村研一	魚 あかふ	あこう	201203	表面書き込みに従う
5	水彩・素描	D-0651	中村研一	紫露草	つゆくさ	2012	
6	水彩・素描	D-0830	岡田三郎助	青墨風・素描 水辺	水辺	201401	
7	水彩・素描	D-1004	中村研一	バスケットボール	博多「玉せせり」	201201	読売新聞夕刊記事 (1955年9月25日) 挿絵のバリエーション
8	水彩・素描	D-1104	中村研一	舟	長門	201403	表面に記載
9	水彩・素描	D-1109	中村研一	風景	包頭	201401	表面に記載
10	油彩	O-0036	中村研一	坐裸婦	座裸婦		第8回新日展(1965年)出品時の表記
11	油彩	O-0057	中村研一	婦人像	坐像	201403	第43回光風会展 (1957年)出品時の 作品名
12	油彩	O-0089	中村研一	宿泊先	宿泊先(昭南のわが宿)	2011	陸軍省派遣南方従軍画 家展(1942年)出品 時の作品名を参照(《昭 南のわが宿》)
13	油彩	O-0102	中村研一	夏の庭	夏の家	2012	第50回光風会(1964 年)出品時の作品名
14	油彩	O-0142	中村研一	バラ	イタリアの壺	2013	福岡遺作展(1972年)・ 日動遺作展(1974年) での作品名
15	油彩	O-0197	中村研一	足柄(アデン)	アデン内港	201403	第7回大日本海洋美術 展(1943年)出品時 の作品名
16	版画	Pr-0003	藤田嗣治	白猫	白い猫	201107	

9. 管理運営

1. 日誌

平成 23 年度（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）

- 4 月 6 日（水） 小金井市新入職員研修で来館
4 月 9 日（土） ギャラリートーク開催
4 月 24 日（日） 開館 5 周年記念トークイベント「小金井に来るまでの中村／はけの森での研一」開催
講師：河田明久（千葉工業大学准教授）
馬目世母子（元財団法人中村研一記念美術館理事長秘書）
5 月 5 日（木） 開館 5 周年記念こきんちゃん 1 日館長
5 月 14 日（土） 中村研一誕生日を記念した無料開館日
5 月 15 日（日） 中村研一誕生日を記念した無料開館日
5 月 17 日（火） 平成 23 年度第 1 回運営協議会開催
5 月 22 日（日） 開館 5 周年記念特別展「中村研一展 制作の軌跡・日常の跡形」終了
5 月 23 日（月） 臨時休館（～5 月 31 日）
5 月 31 日（火） 企画展「江戸糸あやつり人形結城座 ～糸し糸しと言ふ心～」内覧会
6 月 1 日（水） 企画展「江戸糸あやつり人形結城座 ～糸し糸しと言ふ心～」開始
6 月 11 日（土） 企画展関連企画「いとをかし人形ばなし」開催
講師：結城千恵（江戸糸あやつり人形結城座 人形遣い）
6 月 15 日（水） 小金井市立小学校鑑賞教室開始（9 月 14 日まで 25 回実施）
6 月 26 日（日） 企画展関連企画「いとをかし人形あそび」
講師：十二代目結城孫三郎（江戸糸あやつり人形結城座 座長・人形遣い）
7 月 3 日（日） 企画展「江戸糸あやつり人形結城座 ～糸し糸しと言ふ心～」展終了
7 月 4 日（月） 臨時休館（～7 月 15 日）
7 月 15 日（金） 企画展「朝倉文夫の猫たち」内覧会
7 月 16 日（土） 企画展「朝倉文夫の猫たち」開始
7 月 24 日（日） 講演会「猫と作家と彫刻のこと」講師：村山万介（台東区立朝倉彫塑館研究員）
8 月 19 日（金） ワークショップ「ねこのいちにち」講師：尾崎英世（ダンスインストラクター）
8 月 23 日（火） 平成 23 年度第 2 回運営協議会開催
9 月 19 日（月） 企画展「朝倉文夫の猫たち」展終了
9 月 20 日（火） 改修工事のため長期休館（～3 月 27 日）
11 月 2 日（水） 平成 23 年度第 3 回運営協議会開催
11 月 6 日（日） ワークショップ「はけのワークショップ市」講師：「はけのおいしい朝市」組合員
2 月 1 日（水） 小金井市立第一中学校職場体験学習（～2 月 3 日）
2 月 8 日（水） 小金井市立南中学校職場体験学習（～2 月 10 日）
3 月 27 日（火） 所蔵展「料理して妻を待つ 中村研一と日常のモチーフ」開始

平成 24 年度（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日）

- 4 月 22 日（日） 所蔵展「料理して妻を待つ 中村研一と日常のモチーフ」関連企画ワークショップ
「切って貼ってコラージュ・クッキング」開催
- 5 月 6 日（日） 所蔵展「料理して妻を待つ 中村研一と日常のモチーフ」関連企画ワークショップ
「クラフトでラブラブ & ハッピー大作戦」開催
- 5 月 13 日（日） 中村研一誕生日を記念した無料開館日
- 5 月 20 日（日） 所蔵展「料理して妻を待つ 中村研一と日常のモチーフ」終了
- 5 月 21 日（月） 臨時休館（～7 月 17 日）
- 5 月 23 日（水） 平成 23 年度第 1 回運営協議会開催
- 7 月 18 日（水） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」開始
- 7 月 24 日（火） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」関連企画 スケッチ曜日
平成 23 年度第 2 回運営協議会開催
- 7 月 31 日（火） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」関連企画 スケッチ曜日
- 8 月 7 日（火） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」関連企画 スケッチ曜日
- 8 月 14 日（火） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」関連企画 スケッチ曜日
- 8 月 21 日（火） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」関連企画 スケッチ曜日
- 8 月 25 日（土） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」関連企画ワークショップ
「布・紙・糸でコラージュ」「チクチク刺繍でお絵描き」開催
講師：MK Works（刺繍家）
- 8 月 28 日（火） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」関連企画 スケッチ曜日
- 9 月 2 日（日） 所蔵展「夏の家、木陰のアトリエ」終了
- 9 月 3 日（月） 臨時休館（～10 月 15 日）
- 9 月 15 日（土） 「たまわるラリー」開催（～12 月 16 日）
- 9 月 17 日（月） ワークショップ「九谷シールでうつわをつくる・つかう」つくる編
講師：岡田ちひろ（陶磁器デザイナー）、吉田守孝（プロダクトデザイナー）
- 10 月 16 日（火） 企画展「交歓と触発 ―石川県立美術館の近代洋画から」内覧会・開始
- 10 月 21 日（日） ワークショップ「九谷シールでうつわをつくる・つかう」つかう編
講師：岡田ちひろ（陶磁器デザイナー）、吉田守孝（プロダクトデザイナー）
- 10 月 28 日（日） 企画展「交歓と触発 ―石川県立美術館の近代洋画から」関連企画講演会
講師：二木伸一郎（石川県立美術館普及課長）
- 10 月 30 日（火） 平成 24 年度第 3 回運営協議会開催
- 11 月 11 日（日） 企画展「交歓と触発 ―石川県立美術館の近代洋画から」関連企画ギャラリートーク
- 12 月 2 日（日） 企画展「交歓と触発 ―石川県立美術館の近代洋画から」終了
- 12 月 3 日（月） 改修工事のため長期休館（～3 月 29 日）
- 1 月 22 日（火） 平成 24 年度第 4 回運営協議会開催
- 3 月 22 日（金） 平成 24 年度第 1 回収集評価委員会開催
- 3 月 30 日（土） 所蔵展「描線の妙味」開始

平成 25 年度（2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日）

- 4 月 13 日（土） 所蔵展「描線の妙味」ギャラリートーク開催
5 月 6 日（月） 所蔵展「描線の妙味」関連企画ワークショップ
「“けんぼしゃん”とあそぼう！～コラージュでアートを楽しむ～」開催
- 5 月 12 日（日） 中村研一誕生日を記念した無料開館日
5 月 19 日（日） 所蔵展「描線の妙味」ギャラリートーク開催
5 月 21 日（火） 平成 25 年度第 1 回運営協議会開催
5 月 26 日（日） 所蔵展「描線の妙味」終了
5 月 27 日（月） 臨時休館（～7 月 22 日）
7 月 6 日（土） 多目的講義室オープン記念ワークショップ「空カケル教室～水彩で空を描こう～」開催
講師：牟田いずみ（アニメーション背景美術家）
- 7 月 23 日（火） 所蔵展「旅する画家」開始
7 月 30 日（火） 平成 25 年度第 2 回運営協議会開催
8 月 7 日（水） 5 市連携事業「タマのカーニヴァル」関連企画はげの森ワークショップ開催
8 月 10 日（土） 所蔵展「旅する画家」関連企画ワークショップ『『あかり』で旅する美術館』開催
講師：青木繁佳（ライティングエンジニア）
8 月 24 日（土） 所蔵展「旅する画家」関連企画ワークショップ
「“けんぼしゃん”とあそぼう！～コラージュでつくる夢の旅」開催
- 9 月 16 日（月） 所蔵展「旅する画家」終了
9 月 17 日（火） 臨時休館（～7 月 22 日）
9 月 21 日（土） 5 市連携事業「タマのカーニヴァル」通年ワークショップ開催
10 月 11 日（金） 企画展「コレなんだ？佐藤慶次郎のつくった不思議なモノたち」内覧会
10 月 12 日（土） 企画展「コレなんだ？佐藤慶次郎のつくった不思議なモノたち」開始
10 月 19 日（土） 第 1 回「おはなしのへや」開催
10 月 27 日（日） 企画展関連ワークショップ「レインスティックをつくろう！」開催
講師：いしかわ☆まりこ（造形作家・おもちゃ作家）
- 10 月 29 日（火） 平成 25 年度第 3 回運営協議会開催
11 月 3 日（日） 企画展関連ワークショップ「佐藤さんの作品の仕組みをみる・つくる」開催
講師：石川喜一（佐藤慶次郎作品制作アシスタント・本展アドバイザー）
11 月 9 日（土） 第 2 回「おはなしのへや」開催
11 月 17 日（日） 企画展関連ワークショップ「ライブ・ステレオ・スコープを作ろう」開催
講師：クワクポリョウタ（アーティスト）
企画展「コレなんだ？佐藤慶次郎のつくった不思議なモノたち」終了
- 11 月 18 日（月） 臨時休館（～3 月 3 日）
11 月 30 日（土） 5 市連携事業「タマのカーニヴァル」通年ワークショップ開催
12 月 7 日（土） 5 市連携事業「タマのカーニヴァル」通年ワークショップ開催
12 月 8 日（日） 多目的講義室オープン記念ワークショップ第 2 弾「水彩で富士山を描こう」
講師：牟田いずみ（アニメーション背景美術家）
- 1 月 11 日（土） 5 市連携事業「タマのカーニヴァル」関連企画はげの森ワークショップ開催
1 月 12 日（日） 5 市連携事業「タマのカーニヴァル」通年ワークショップ開催
1 月 18 日（土） 5 市連携事業「タマのカーニヴァル」関連企画はげの森ワークショップ開催

- 1月19日(日) 5市連携事業「タマのカーニバル」通年ワークショップ開催
- 2月4日(火) 平成25年度第4回運営協議会開催
- 2月9日(日) 5市連携事業「タマのカーニバル」通年ワークショップ開催
- 3月4日(火) 企画展「タマのカーニバルはけの森展 はじまりの造形—まねること・くりかえすこと リズムの起源」開始
- 3月15日(土) 企画展関連ワークショップ「縄文編布の制作」開催
講師：尾関清子(縄文編布研究家 東海学園女子短期大学名誉教授)
- 3月16日(日) 企画展関連レクチャー「はじまりの造形—まねること・くりかえすこと リズムの起源」開催
- 3月19日(水) 第3回「おはなしのへや」開催
- 3月21日(金) 企画展関連トーク「タマのカーニバルとは何だったのか？」開催
- 3月22日(土) 企画展関連パフォーマンス「詩の朗読」開催 アーティスト：藤原安紀子(詩人)
- 3月23日(日) 企画展関連パフォーマンス「サーカスアーティストによるパフォーマンス」開催
アーティスト：金井圭介(サーカスアーティスト)
企画展「タマのカーニバルはけの森展 はじまりの造形—まねること・くりかえすこと リズムの起源」終了
- 3月24日(月) 臨時休館(～3月28日)
- 3月29日(土) 所蔵展「日々の花々」開始

2. 入館者数

平成 23 年度（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）

開催期間	開催日数	展覧会名	入館者数
4 月 1 日～5 月 22 日 (平成 23 年度分)	45 日	5 周年記念特別展 中村研一展 ～制作の軌跡・日常の跡形～	1,189 人
6 月 1 日～7 月 3 日	29 日	江戸糸あやつり人形 結城座 ～糸し糸しと言ふ心～	877 人
7 月 16 日～9 月 19 日	57 日	朝倉文夫の猫たち	2,732 人
3 月 27 日～3 月 31 日 (平成 23 年度分)	5 日	所蔵作品展 料理して妻を待つ ～中村研一と日常のモチーフ～	87 人
		計	4,885 人

平成 24 年度（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日）

開催期間	開催日数	展覧会名	入館者数
4 月 1 日～5 月 20 日 (平成 24 年度)	43 日	所蔵作品展 料理して妻を待つ ～中村研一と日常のモチーフ～	1,619 人
7 月 18 日～9 月 2 日	41 日	所蔵作品展 夏の家、木陰のアトリエ 交歓と触発	612 人
10 月 16 日～12 月 2 日	43 日	～石川県立美術館の近代洋画から	1,854 人
3 月 30 日～3 月 31 日 (平成 24 年度)	2 日	所蔵作品展 描線の妙味	40 人
		計	4,125 人

平成 25 年度（2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日）

開催期間	開催日数	展覧会名	入館者数
4 月 1 日～5 月 26 日 (平成 25 年度)	43 日	所蔵作品展 描線の妙味	1,420 人
7 月 23 日～9 月 16 日	41 日	所蔵作品展 旅する画家	1,039 人
10 月 12 日～11 月 17 日	43 日	岐阜県美術館蔵 コレなんだ？佐藤慶次郎の つくった不思議なモノたち	2,030 人
3 月 4 日～3 月 23 日	18 日	タマのカーニヴァルはけの森展 はじまりの造形 ～まねること・くりかえすこと リズムの起源	853 人
3 月 29 日～3 月 31 日 (平成 25 年度)	3 日	所蔵作品展 日々の花々	33 人
		計	5,375 人

3. 予算一覧

平成 23 年度（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）

歳入	金額（円）	歳出	金額（円）
観覧料	1,295,800	報酬	8,015,788
図録等売払収入	341,540	賃金	2,542,320
雑入	176,592	報償費	2,158,000
芸術文化振興基金助成金	900,000	旅費	75,130
緊急雇用創出事業による補助金	5,856,360	需用費	5,039,230
平成 23 年度東京都市町村総合交付金 まちづくり振興割地域特選事業枠	18,233,750	役務費	2,137,904
		委託料	12,969,685
		使用料及び賃借料	699,899
		負担金補助及び交付金	30,000
		工事請負費	20,454,000
		備品購入費	98,700
計	26,804,042	計	54,220,656

平成 24 年度（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日）

歳入	金額（円）	歳出	金額（円）
観覧料	667,000	報酬	7,192,210
図録等売払収入	258,710	賃金	2,029,280
雑入	176,805	報償費	2,034,000
市町村立美術館活性化事業助成金	41,300	旅費	233,560
緊急雇用創出事業による補助金	1,828,170	需用費	5,466,152
平成 24 年度東京都市町村総合交付金 まちづくり振興割地域特選事業枠	11,410,000	役務費	2,274,906
		委託料	6,542,777
		使用料及び賃借料	548,181
		負担金補助及び交付金	30,000
		工事請負費	17,304,000
		備品購入費	2,291,352
計	14,381,985	計	45,946,418

平成 25 年度（2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日）

歳入	金額（円）	歳出	金額（円）
観覧料	740,600	報酬	5,269,685
図録等売払収入	306,650	賃金	2,412,520
雑入	161,331	報償費	2,112,000
市町村立美術館活性化事業助成金	4,349,692	旅費	251,880
		需用費	5,698,257
		役務費	905,468
		委託料	7,172,912
		使用料及び賃借料	743,148
		負担金補助及び交付金	5,530,000
		備品購入費	154,770
計	5,558,273	計	30,250,640

10. 資料

小金井市立はけの森美術館運営協議会

1. 設置趣旨

小金井市立はけの森美術館の運営に関し市長の諮問に応じるとともに、美術館における運営の在り方、事業内容、経営等について検討し、その結果を市長に報告する。

※根拠条例 小金井市はけの森美術館条例要綱第 12 条

2. 委員構成

市民	2 人以内
館長	1 人以内
学識経験者	1 人以内
市に勤務する職員	1 人以内

3. 委員名簿

◇第 3 期 平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

会長	鉄矢悦朗	東京学芸大学教育学部教授
副会長	宮村令子	公募市民
	千村裕子	公募市民
	淀井彩子	画家・青山学院女子短期大学芸術学科教授（平成 23 年 3 月退任）
	豊岡弘敏	小金井市職員
	鈴木茂哉	小金井市立はけの森美術館館長

◇第 4 期 平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

会長	鉄矢悦朗	東京学芸大学教育学部教授
副会長	上田郁子	公募市民
	村澤 司	公募市民
	山村仁志	府中市美術館副館長
	河合雅彦	小金井市職員
	鈴木茂哉	小金井市立はけの森美術館館長（平成 25 年 3 月 31 日まで）
	平岡良一	小金井市立はけの森美術館館長（平成 25 年 4 月 1 日から）

4. 開催経過

- 平成 23 年度 第 1 回運営協議会：平成 23 年 5 月 17 日（火）
第 2 回運営協議会：平成 23 年 8 月 23 日（火）
第 3 回運営協議会：平成 23 年 11 月 2 日（水）
第 4 回運営協議会：平成 24 年 3 月 27 日（火）

- 平成 24 年度 第 1 回運営協議会：平成 24 年 5 月 23 日（水）
第 2 回運営協議会：平成 24 年 7 月 24 日（火）
第 3 回運営協議会：平成 24 年 10 月 30 日（火）
第 4 回運営協議会：平成 25 年 1 月 22 日（火）

- 平成 25 年度 第 1 回運営協議会：平成 25 年 5 月 21 日（火）
- 第 2 回運営協議会：平成 25 年 7 月 30 日（火）
- 第 3 回運営協議会：平成 25 年 10 月 29 日（火）
- 第 4 回運営協議会：平成 26 年 2 月 4 日（火）

小金井市立はげの森美術館収集評価委員会

1. 設置趣旨

小金井市立はげの森美術館における芸術文化作品の収集及び評価に関し市長の諮問に応じるとともに、収集方針、作品寄贈の受入等について検討し、その結果を市長に報告する。

※根拠条例：小金井市立はげの森美術館条例第 13 条

2. 委員名簿

◇第 3 期 平成 24 年 3 月 16 日～平成 26 年 3 月 31 日

委員長 本江邦夫（多摩美術大学教授）

河合晴生（東京都美術館学芸員）

塚本豊子（双ギャラリーオーナー）

川合 修（小金井市市民部長）

小林 美都江（小金井市学校教育部長）平成 24 年 3 月 16 日まで

尾上 明彦（小金井市学校教育部長）平成 25 年 3 月 22 日より

3. 開催経過

- 平成 23 年度 第 1 回収集評価委員会：平成 24 年 3 月 16 日（金）
- 平成 24 年度 第 1 回収集評価委員会：平成 25 年 3 月 22 日（金）
- 平成 25 年度 開催なし

小金井市立はけの森美術館 職員

平成 23 年度（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

館長	鈴木茂哉	（市民部コミュニティ文化課課長）
学芸顧問	薩摩雅登	（東京藝術大学大学美術館教授）
事務	山田耕太郎	（再任用職員）
学芸員	神津瑛子	（非常勤職員）
	荒木 和	（非常勤職員）
	中村ひの	（非常勤職員）

平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

館長	鈴木茂哉	（市民部コミュニティ文化課課長）
学芸顧問	薩摩雅登	（東京藝術大学大学美術館教授）
事務	山田耕太郎	（再任用職員）
学芸員	神津瑛子	（非常勤職員）
	荒木 和	（非常勤職員）
	松尾由子	（非常勤職員）

平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

館長	平岡良一	（市民部コミュニティ文化課課長）
学芸顧問	薩摩雅登	（東京藝術大学大学美術館教授）
事務	山田耕太郎	（再任用職員）
学芸員	荒木 和	（非常勤職員）
	中村めぐみ	（非常勤職員）5 月 1 日より

11. 関連条例・規程

小金井市立はけの森美術館条例

平成 17 年 9 月 29 日
条例第 23 号

(設置)

第 1 条 芸術文化の享受に寄与することにより、市民の感受性及び創造性を高めるとともに、芸術文化活動への市民の参画を通じ交流の機会を提供し、もって本市の新たな芸術文化の創造及び振興を図るため、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 小金井市立はけの森美術館

位置 小金井市中町一丁目 11 番 3 号

(事業)

第 3 条 美術館は、次の事業を行う。

- (1) 芸術文化作品の展示、保存及び修復に関すること。
- (2) 芸術文化事業の開催及び活動への助言及び指導に関すること。
- (3) 芸術文化に関する調査及び研究に関すること。
- (4) 芸術文化の情報及び資料の収集及び公開に関すること。
- (5) 芸術文化に関する講演会、講習会等の主催及び援助に関すること。
- (6) 美術館事業の広報に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するために必要なこと。

(職員)

第 4 条 美術館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(施設)

第 5 条 美術館には、展示室その他附属施設を設置する。

(休館日)

第 6 条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- (1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条に規定する休日に当たるときは、その日の直後の休日以外の日とする。
- (2) 1 月 1 日から同月 3 日まで。
- (3) 12 月 29 日から同月 31 日まで。

(開館時間)

第 7 条 美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとする。ただし、市長が特に必要と認めるときは、これを変更することができる。

(観覧料)

第 8 条 美術館に展示されている芸術文化作品を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納入しなければならない。

2 美術館が企画展を開催する場合には、前項の規定にかかわらず、市長は 1,000 円を超えない範囲内において、その都度観覧料を定めることができる。

3 前 2 項の規定にかかわらず、市長は特別の事情があると認めるときは、観覧料を減額又は免除することができる。

(観覧料の不還付)

第 9 条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が相当の理由があると認めるときは、既納の観覧料の全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限)

第 10 条 入館しようとする者が、次の各号のいずれかに該当するときは、市長は入館を禁じ、又は退館をさせることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は施設、設備、展示品等を損壊するおそれがあると認めるとき。
- (2) 美術館内の秩序を乱すおそれがあると認めるとき。

(3) 前2号に定めるもののほか、管理運営上支障があると認めたとき。

(損害賠償の義務)

第11条 故意又は過失により、美術館の施設、設備、展示品等を滅失し、又はき損した者は、市長の指示に従いその損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。

(運営協議会の設置)

第12条 市長は、美術館に小金井市立はけの森美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、美術館の運営に関し市長の諮問に応じるとともに、市長に対して意見を述べることができる。

3 協議会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する委員6人以内をもって組織する。

(1) 市民 2人以内

(2) 学識経験者 2人以内

(3) 館長 1人

(4) 市に勤務する職員 1人以内

4 前項第1号の委員は、公募によるものとする。

5 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(収集評価委員会の設置)

第13条 市長は、美術館に小金井市立はけの森美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、芸術文化作品の収集及び評価に関し市長の諮問に応じるとともに、市長に対して意見を述べることができる。

3 委員会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する委員5人以内をもって組織する。

(1) 学識経験者 3人以内

(2) 市に勤務する職員 2人以内

4 委員会の委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(委任)

第14条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(特別職の給与に関する条例の一部改正)

2 特別職の給与に関する条例（昭和31年条例第22号）の一部を次のように改正する。

別表第3中「公務災害補償等審査会 会長 日額 11,000円

委員 日額 10,000円」を

「公務災害補償等審査会 会長 日額 11,000円

委員 日額 10,000円

市立はけの森美術館運営協議会 会長 日額 11,000円

委員 日額 10,000円

市立はけの森美術館収集評価委員会 委員長 日額 11,000円

委員 日額 10,000円」に改める。

別表（第8条関係）

区分		
観覧料（企画展を除く）	一般	200円
	小学生・中学生	100円

備考

1 小学生・中学生とは、小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者をいう。

2 学齢に達しない者（小学校就学前の者）は、無料とする。

小金井市立はけの森美術館条例施行規則

平成 18 年 4 月 1 日

規則 第 3 4 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、小金井市立はけの森美術館条例（平成 17 年条例第 23 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第 2 条 市長は、条例第 8 条の規定により観覧料を納入した者に、領収書に代えて観覧券を交付する。

2 観覧券の発行時間は、閉館時間の 30 分前までとする。ただし、必要と認めたときは、この限りでない。

(観覧料の減額又は免除)

第 3 条 条例第 8 条第 3 項の規定に基づく観覧料の減額又は免除の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 中学生以下の者及びこれに準ずる者並びにこれらの引率者が、教育課程に基づく学校行事等の教育活動として観覧するとき。 免除
- (2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）に規定する身体障害者手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。 免除
- (3) 東京都が発行する愛の手帳又は道府県が発行する療育手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。 免除
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）に規定する精神障害者保健福祉手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。 免除
- (5) 市が主催又は共催する行事の参加者が、その行事の一環として観覧するとき。 免除
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認めるとき。 2 分の 1 又は免除

2 前項に規定する減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ小金井市立はけの森美術館観覧料減額・免除申請書を提出しなければならない。ただし、前項第 2 号から第 4 号までに規定する者は、手帳の提示をもって当該申請書の提出に代えることができる。

(観覧料の還付)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定に基づき観覧料を還付する場合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 観覧する者の責任でない事由により、観覧することができないとき。 全額
- (2) その他市長が特に必要と認めるとき。 全額

(遵守事項)

第 5 条 美術館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと。
- (2) 館内にカッターナイフ等の刃物、油彩道具等を持ち込まないこと。ただし、講座等の行事において、入館する者がそれらを使用する場合は、この限りでない。
- (3) 喫煙又は飲食をしないこと。
- (4) 他の入館者の迷惑となるような行為をしないこと。
- (5) 係員の指示に従うこと。

(協議会の組織)

第 6 条 条例第 12 条に規定する小金井市立はけの森美術館運営協議会（以下「協議会」という。）に、会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の運営等)

第 7 条 協議会は、必要に応じて開催する。

2 協議会は、会長が招集し、その議長となる。

3 協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(委員会の組織)

第8条 条例第13条に規定する小金井市立はけの森美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）に、委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員会の運営等)

第9条 委員会は、必要に応じて開催する。

2 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

3 委員会は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

小金井市学芸顧問設置要綱

制定 平成 18 年 4 月 1 日

改正 平成 19 年 4 月 1 日

(設置)

第 1 条 小金井市立はげの森美術館の運営及び事業実施に関し、専門的な立場から指導、助言を受け、本市の新たな芸術文化の創造及び振興を図ることを目的に、小金井市学芸顧問（以下「学芸顧問」という。）を置く。

(指導及び助言)

第 2 条 学芸顧問は、次の事項について相談に応じ、指導及び助言するものとする。

- (1) 美術館の運営に関すること。
- (2) 美術館の事業に関すること。
- (3) その他、美術館職員が美術館業務を遂行する上で、必要なこと。

(定数)

第 3 条 学芸顧問の定数は、1 人とする。

(委嘱)

第 4 条 学芸顧問は、芸術文化に関して識見を有する者の中から市長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 学芸顧問の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

(謝礼)

第 6 条 学芸顧問に関しての謝礼は、予算の範囲内で支払う。

(所管)

第 7 条 学芸顧問に関する事務は、市民部コミュニティ文化課が所管する。

(その他)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

小金井市立はけの森美術館所蔵作品等の貸与に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、小金井市立はけの森美術館（以下「美術館」という。）に所蔵する作品等（以下「作品等」という。）の貸与について、必要な事項を定めることを目的とする。

(作品等の貸与)

第2条 市長は、芸術文化の普及上必要と認めた場合に、小金井市市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例（昭和39年条例第2号）第7条及び小金井市物品管理規則（昭和53年規則第8号）第35条の規定に基づき、国もしくは地方公共団体又は公益法人もしくはこれに準ずるものに対して作品等を貸与することができる。

(貸与申請)

第3条 作品等の貸与を受けようとするものは、次に掲げる事項を記載した作品等借受申請書に企画書、出品作品リスト及び施設概要を添えて、貸与開始日の3か月前までに市長に提出しなければならない。

- (1) 申請者氏名又は名称及び住所
- (2) 展示等のための施設の名称及び住所
- (3) 借り受けようとする作品等の名称及び数量
- (4) 使用目的及び当該作品等を使用する企画展等の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間中の保管方法及び監視員の設置等を含む管理の方法
- (7) 保険適用等を含む運搬方法
- (8) その他参考となる事項

(貸与適格)

第4条 作品等の貸与を受けようとするものは、次に掲げる事項を満たしているものとする。

- (1) 美術専門の教員又は研究官もしくは学芸員を配置している組織であること。
- (2) 防犯及び防災体制並びに空調設備等が整備された美術品専門の収蔵庫及び展示室を有していること。
- (3) 展示室に必要な数の監視員を常時配置させていること。

(貸与制限)

第5条 次に掲げる作品等は、貸与の対象外とする。

- (1) 状態が悪く、展示することができないと美術館の学芸員が判断した作品等
- (2) 常設展で展示している作品等
- (3) 前2号に掲げるもののほか、貸与することにより美術館の事業に支障をきたすおそれのある作品等

(貸与許可)

第6条 市長は、作品等の貸与を許可したときは、貸与条件を付した所蔵作品等貸与許可通知書（様式）を申請者に交付しなければならない。

(貸与期間)

第7条 作品等の貸与期間は、原則として2か月以内とする。ただし、市長が必要と認めたときは、6か月まで貸与期間を延長することができる。

(著作権に関する措置)

第8条 作品等の展示及びその写真の使用に伴う著作権者との協議及びその手続は、作品等の借受人が責任を持って行うものとする。

2 作品等の借受人は、前項の規定による措置を採った場合は、その結果を市長に報告しなければならない。

(貸与に関する遵守事項)

第9条 貸与する作品等の運搬、保管及び管理に要する費用は、借受人が負担する。

- 2 貸与期間中の作品等の保管及び管理については、借受人の責任で行う。この場合において、亡失、汚損又は破損があったときは、借受人は、賠償の責めを負うものとし、独断で修復等を行わず直ちにその詳細を市長に報告しなければならない。
- 3 作品等の借受人は、当該作品等を使用目的以外に使用してはならない。
- 4 作品等の貸与及び返却は、企画展等の主催者で美術を専門とする教員又は研究官もしくは学芸員が来館して行わなければならない。
- 5 作品等の貸与及び返却は、美術品専門の運送会社が運送し、美術輸送専門の車両を使用して行わなければならない。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、作品等の貸与に関し必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成19年3月30日から施行する。

12. 施設概要

1) 利用案内

開館時間：午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時半まで）

休館日：月曜日（ただし月曜日が祝日ないし振替休日の場合は翌平日）、
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

※この他、展示替など必要に応じて休館することがあります

観覧料：所蔵作品展 一般 200 円

小中学生 100 円

企画展 その都度設定

※未就学児は無料

※障害者手帳をご呈示の方、および付添いの方 1 名は無料

2) 交通案内

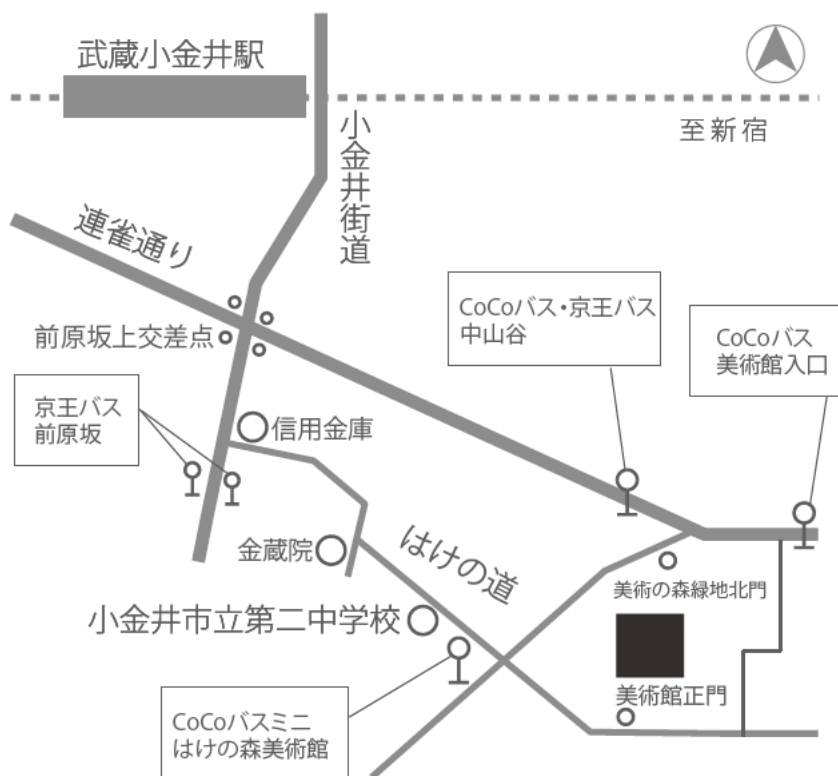
○ JR 中央線武蔵小金井駅下車南口より徒歩 15 分、「はけの道」沿い、小金井市立第二中学校近く

○ 武蔵小金井駅南口発 CoCo バスミニ野川・七軒家循環「はけの森美術館」下車、徒歩約 1 分

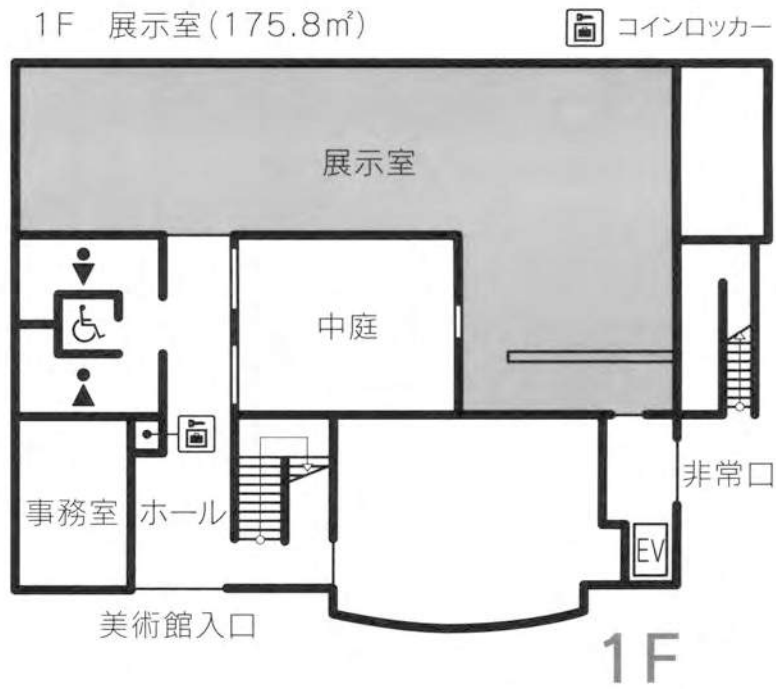
○ 武蔵小金井駅南口発 京王バス武蔵境駅南口行き「中山谷」、

西武多摩川線新小金井駅発 CoCo バス中町循環「美術館入り口」もしくは「中山谷」下車、
徒歩約 1 分 ※いずれも「美術の森」緑地北門より

○ 京王線府中駅・調布駅発 京王バス武蔵小金井行き「前原坂」下車、徒歩約 10 分



3) 館内案内



2F 展示室(72.0㎡)
多目的講義室(59.6㎡)



延床面積 775.1㎡

小金井市立はけの森美術館 年報
平成 23 年度 - 平成 25 年度

編集・発行 小金井市立はけの森美術館
〒 184-002 東京都小金井市中町 1-11-3
Tel 042-384-9800

印刷 株式会社アトミ
発行年月日 2015 年 3 月 31 日